

平成27年4月に着任して、独立就農を目指して活動している3人の地域おこし協力隊（定住・農業部門）。そのうち、國吉美貴さん、大西稜也さんの2人が協力隊を卒業し、独立就農しました。

約2年間、大山町アグリマイスターのもとで、農業に必要な技術や知識を学びながら、就農に向けた準備を進め、それぞれ、白ねぎとブロッコリーの農家として、独立就農の日を迎えました。

## 地域おこし協力隊を 卒業して、 独立就農しました！

～定住・農業部門～



くによし みつき  
國吉美貴さん（莊田）  
＜白ねぎ・6月1日就農＞

協力隊の期間で印象に残っていることは、定住するための空き家探しです。長い間、思いどおりの空き家が見つからず悩んでいましたが、ある日の飲み会がきっかけで縁が重なり、思いもよらないところで見つかりました。人付き合いの大切さを強く実感した出来事でした。

また、親方であるアグリマイスターの皆さんが家族同様に接してくださったことは、私の精神的な支えでした。同期の存在も心強く、同年代の農業者がいるというのはとても嬉しいです。

そんな周りの支えがあったからこそ、6月から莊田でネギ農家として就農することができました。やっとスタートラインです。

私は、2年3か月の地域おこし協力隊の活動を終え、ブロッコリー4.2ha、スイートコーン20aを目標に独立就農をしました。

私の現在の夢は、農業経営を軌道に乗せて、先輩農業者や地域の方に認めてもらえるような生産者になり、私の師匠のように研修生を受け入れ、後継者を増やしていくことです。

農村での生活経験はもちろん、農業経験も全くなかった私が独立就農ができたのは、師匠となっていたいたアグリマイスターをはじめ、役場、JA、普及所、そして地域の方々のおかげです。

農業を志す若者のモデルとなれるようがんばっていきます。



おおにし りょうや  
大西稜也さん（東高田）  
＜ブロッコリー・7月1日就農＞

### 卒業報告会（6月29日）



卒業報告会の様子

アグリマイスターをはじめ、普及所や営農センター、担い手育成機構など、研修関係者が集まり、國吉さんと大西さんの「卒業報告会」を行いました。

二人は、研修中のことや皆さんの感謝とともに、これからの抱負を力強く語りました。

また出席した方々からも「人とのつながりを大切に」「何かあれば、遠慮なく相談してほしい」と心強いエールが贈られました。

協力隊を卒業し、就農した國吉さん、大西さん。若手農家として、また地域の担い手として今後の活躍を期待しています。

◆問い合わせ先 農林水産課  
☎0858・58・6116